

習志野市選挙管理委員会議事録

令和元年度第9回定例選挙管理委員会

○開催日

令和2年2月19日(水)午前9時～午前10時15分

○場所

市役所2階会議室3

○委員

4名中「出席4名」「欠席0名」

役職	氏名	出欠	備考
委員長	金子 光 雄	出席	
委員長職務代理者	田 畑 富三夫	出席	
委員	中 野 隆	出席	
委員	染 谷 雅 美	出席	議事録署名

○付議事項と審議結果

上程3件中「承認3件」「不承認0件」「審議未了0件」

付議事項	審議結果
議案第94号 選挙人名簿から抹消することについて	承認
議案第95号 在外選挙人名簿に登録する者を定めることについて	承認
議案第96号 在外選挙人名簿に登録の移転をする者を定めることについて	承認

＜ 発 言 要 旨 ＞

【委員長】

只今より、令和元年度第9回定例選挙管理委員会を開会します。
会議録署名委員は、選挙管理委員会規程第10条の規定により、染谷委員を指名します。
本日の議題は、選挙人名簿から抹消することについて他2件です。
議案第94号から第96号は、選挙人名簿の調製に関するものです。
一括して事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

議案第94号と議案第96号を一括して事務局長より説明する。
(抹消選挙人名簿、登録在外選挙人名簿、登録移転在外選挙人名簿を回付して確

認する。)

【委員長】

只今の説明について、質疑ありませんか。

(「なし」と言う声あり。)

本件を原案のとおり決することに異議ありませんか。

(「なし」と言う声あり。)

ないようですので原案のとおり決定します。

【委員長】

その他、事務局より何かあればお願いします。

【事務局】

報告事項として、時系列に5点、報告いたします。

1点目は、先進市視察についてです。

2月5日(水)、群馬県大泉町選挙管理委員会に、委員4人と私で視察を行いました。

内容は、共通投票所の取組みについてです。

丁寧な説明を受け、大変、有意義であったと感じております。

2点目は、研修会についてです。

2月7日 午後、市原市で行われた千葉地域四市選挙管理委員会連絡協議会研修会に、委員4人と次長が参加しました。

3点目は、主権者教育についてです。

2月7日 午後、船橋夏見特別支援学校高等部で主権者教育を行いました。

習志野市から私を含め職員3人、船橋市から職員5人が参加しました。

受講者は、高等部のお子さんと保護者です。おおよそ30名ほどの生徒が参加しました。熱心に聞いていただきました。

講義の後に模擬投票を行いました。この学校は肢体不自由児が多く、車椅子等での代理投票の仕方などを実際に行いました。

また、模擬投票終了後に希望者には、もう少し掘り下げた内容の追加講義を行いました。

4点目は、県選挙管理委員会からの表彰について です。

昨年4月に行われた千葉県議会議員選挙について、県委員長表彰を受賞しました。

表彰式は、2月10日に千葉県自治会館で行われ、代表して、金子委員長が表彰状を授与されました。

なお、民間団体では、イオンタウン東習志野が受賞されました。

また、ポスターコンクールの表彰もあり、当市からは小学生の2名が佳作で入賞しました。後日学校と調整し、委員長とともに表彰状を届けに行きます。

【委員長】

2名はどこの学校か。

【事務局】

実花小学校と藤崎小学校です。

5点目は、市議会第1回定例会についてです。

明日、2月20日に招集され、会期は3月25日までの予定です。

計22件の議案が提案され、一般質問は23人の議員が行う予定です。

なお、市長選挙の裁判につきましては、県選管に確認したところ、昨年12月末に東京高裁から電話で事実確認調査があったとのことでした。現在申立書の補正を文書で行っているとのことでした。

最後に、来年度の会議日程(案)を配付させていただきましたので、ご確認ください。

来年3月に予定されている県知事選、解散があった場合の衆院選の前には、必要に応じて臨時会を開催することがありますので、ご承知おきください。

【委員長】

知事の任期はいつまでか。

【事務局】

令和3年4月4日までです。そのため、3月中の執行の可能性が高く、予算の要求もしています。

【委員】

何か特別な予算要求はしているのか。

【事務局】

現在使用している分類機が古く、業者より修理のための部品が今後調達できなくなるとの連絡を受けているため、新しい分類機を購入する予算を要求しました。

【委員】

予算はいくらぐらいか。

【事務局】

620万ほどです。

【委員長】

他に何かありますか。

【委員】

優良市視察や研修についてですが、本年も委員4名で行かせていただきとても勉

強になっているが、実際に実務を行う職員も参加できたほうが、もっと有意義になるのではないかと考えている。委員の参加を半分にして、残りを若い職員が参加できたら新しい知識の蓄積もできるのではないだろうか。

【委員】

色々と進んでいる市町村も多くある。啓発の手法でも、今までのような物を配るだけではなく、独自の映像を製作したり、開票作業に学生を参加させるなど、投票率が低い層が興味を持ちそうな方法を行い始めていると先日参加した研修で学んだ。

確かに委員が実務を行っているわけでもないのに、新しい知識を吸収しきれないことも多い。職員が参加して勉強できたらい。

【委員長】

他に何かありませんか。

（「なし」と言う声あり。）

以上をもちまして、第9回定例会を閉会します。